

# 令和元年度 1学期終業式あいさつ

令和元年7月19日

先ほど賞状伝達式において、各種大会・コンクールでの活躍を紹介しました。表彰された皆さんの健闘と努力に敬意を表します。全国大会に出場する生徒諸君には、これまでの大会での課題を今一度検証・修正し、全国大会でも力を発揮し、本荘高校の名を全国にとどろかせて欲しいと思います。

先週甲子園予選秋田県大会で硬式野球部を2回応援する機会がありました。1回戦は3年生と、2回戦は有志の生徒諸君との応援でした。吹奏楽部や応援団の皆さんも猛暑の中精一杯応援しました。残念ながら2回戦で敗れましたが、選手諸君の最後まであきらめない粘り強い戦いぶり、母校を代表する選手を一生懸命応援する姿、そして敗れても潔く勝者をたたえる姿に本校生の気高い人間性を感じました。

硬式野球部だけでなく、部活動において引退した3年生には、これまで本荘高校の看板を背負って頑張ってくれたことに対して心から感謝します。3年間本当にお疲れ様でした。皆さんの思いは1、2年生がしっかり受け継いでくれるはずです。これからはそれぞれの進路実現に向け、これまで部活動にかけてきた情熱を残りの高校生活に注いでください。人生では、頑張っていれば活躍できるステージがいくつも用意されていると思っています。自分の目標をしっかり見据え地道な努力を積み重ね、次のステージで夢を叶えてください。

さて、早いもので1学期も今日で終了です。この1学期様々な事がありましたが、何といても年度初めのインフルエンザの流行による行事の延期が一番印象に残っています。国歌練習に加え、運動会も延期となりました。国歌練習は時期は遅くなりましたが、本荘高校の良き伝統をしっかり後輩に引き継ぐことができたと思います。運動会は玲瓏祭と同じ週になり、非常に苦労したと思いますが、素晴らしい二大行事となりました。玲瓏祭の最後にお話したように、本高生には「一兎だけでなく、二兎も三兎も追って欲しい」と期待しています。それが出来る生徒諸君だと思っています。これからも自分で限界を作らず、失敗を恐れることなく、多くのことに挑戦して欲しいと思います。

今日は終業式という節目ですので一つだけお話をします。

皆さんに伝えたいのは「良き習慣は才能を超えることができる」ということです。勉強にしろ部活動にしろ、自分に与えられた条件を「不運」と嘆くことなく、不平を言わず、その条件下で自分がどれだけのことが出来るかを考え、具体的に行動を続けることが大切だと考えます。

私が担任だった頃の生徒の話です。運動部の男子生徒ですが、あるとき母親からこんな相談を受けました。「うちの子は学校から帰っても着替えず、汗臭い制服のままずっといる。時には制服のまま机に突っ伏してねている。理由を話さないのだから話を聞いてもらえないか」というものでした。早速その生徒から話を聞いたのですが、なかなか話してくれませんでした。やっとこんなことを話してくれました。「自分は家で着替えてしまうと気

が緩んでしまい、すぐに眠くなってしまふ。だから緊張感がなくならぬよう、家でも学校の制服を着たまゝ勉強しようと考えたのです」という話でした。彼は成績は飛び抜けているわけでもなく、努力家でしたが部活動ではレギュラーにはなれませんでした。しかし、口数は少なくてもとても優しく穏やかな性格で、クラスでも部活動でも縁の下の力持ち的存在でした。たとゑ飛び抜けた才能など無くとも、彼は家でも制服のまま勉強するという自らの習慣を続け、最終的には後期試験で志望する大学に合格しました。本人は「厳しい部活動だったので、疲れてどれだけ勉強が身についてかは解りませんが、これだけは続けようと思地になって頑張ったことが高校時代の自分の誇りです」と語っていました。彼の習慣は確かに才能を超えることが出来たと思っています。

皆さんは風船に空気を入れたことがあると思います。最初はなかなか空気が入らず苦しいのですが、頑張って少しふくらますことが出来れば、そこから先はそれほど難儀せずとも空気を送り続ければふくらますことが出来ます。最初の苦しいところであきらめれば決して風船はふくらみません。皆さんの夢という風船もあきらめることなく努力を重ね、習慣とすることが出来たとき、大きくふくらむものと思います。

3年生はいよいよ進路目標に向かってこれから勝負の時です。苦しいと思いますが、半年という期限つきです。皆さんの周りでも全国でも、仲間やライバルが頑張っています。自分の未来のために、全力を尽くして欲しいと思います。先生方も応援しています。

1、2年生の皆さん、長い人生の中での3年間の高校時代はあつという間です。勉強も部活動も学校行事も精一杯全力で臨むべきです。

譲れないもののために、自分の夢の実現のために良き習慣を身に付けてください。

最後に夏休み中のお願いと期待です。

この休みの期間、何をおいても自分を大切にしてください。自分を大切にすることは、常に自分の命を守ることを考えるとともに、高校生としての本分を守って行動するという事です。高校生として、人間として、すべき事はしなければならないし、してはならぬことはならぬのです。心が揺れるときには、これまで皆さんに話をしてきた「自分は正堂堂としているか」ということを自分に問うてみてください。

有意義な夏休みとなること、そして8月19日の2学期始業式では、皆さん全員と元気に再会することを願って終業式のあいさつとします。